

# 協働に関する職員アンケート集計結果

## 1. 調査対象

正規職員（技能労務職員、再任用及び嘱託職員を除く。）

## 2. 調査形式

無記名式アンケート調査

## 3. 調査期間

平成25年9月～11月

## 4. 調査数及び回答数

調査数：512名

回答数：322名

回答率：62.9%

## 5. 調査方法

庁内イントラネットを通じて、調査票を配布（各課ごとに必要部数を印刷）

保育所については、担当課を通じて直接配布

## 6. 結果概要

今回実施したアンケートの結果、90%以上の方が「協働」という言葉について知っていたものの、「協働マニュアル」の存在については、約40%の方が「知らない」と回答していました。中でも、5年目までの職員、そして主事・技師級の職員が「知らない」という回答の約半数を占めていました。協働の経験については、「協働した経験がある」が37%、「協働した経験はない」が45%となっていますが、「よくわからない」と回答した人が17.4%もあり、協働に対する知識不足が原因だと思われます。

全体を通して、「よくわからない」や「知らない」と回答をしている人は、年齢別では5年目までの職員、職級別では主事・技師級の職員が多くなっており、年齢及び職級が上位になればなるほど、「よくわからない」や「知らない」の回答は少なくなっています。

各問の回答の詳細は、次ページ以降をご覧ください。

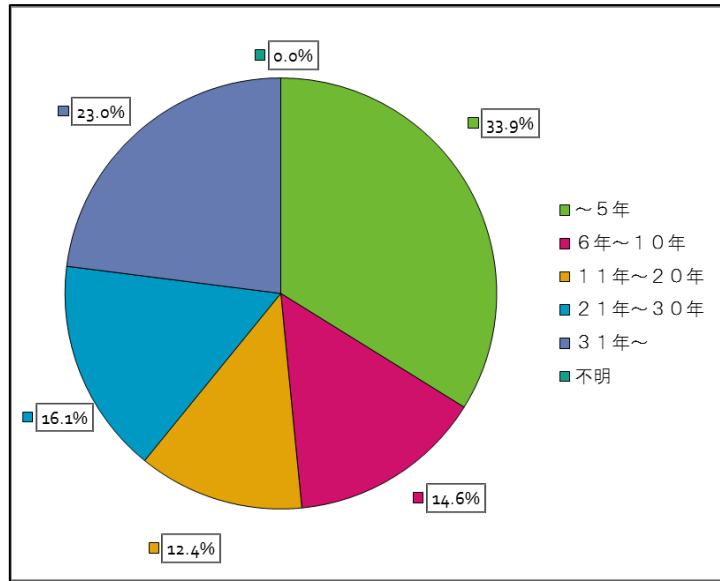
アンケートへのご協力ありがとうございました。



● 問1. あなた自身のことについておたずねします。(平成25年9月1日時点の状況でお答え下さい。)

◆ 1-1. 長岡京市役所職員となって何年目ですか？

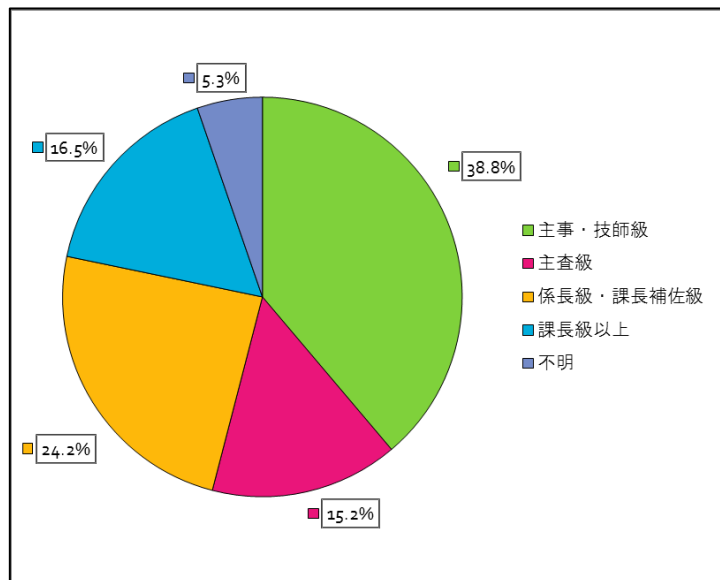
回答	計
～5年	109
6年～10年	47
11年～20年	40
21年～30年	52
31年～	74
不明	0



➤ 「～5年」までが最も多く、続いて「31年～」が多くなっています。

◆ 1-2. 現在の職級をお答えください。

回答	計
主事・技師級	125
主査級	49
係長級・課長補佐級	78
課長級以上	53
不明	17

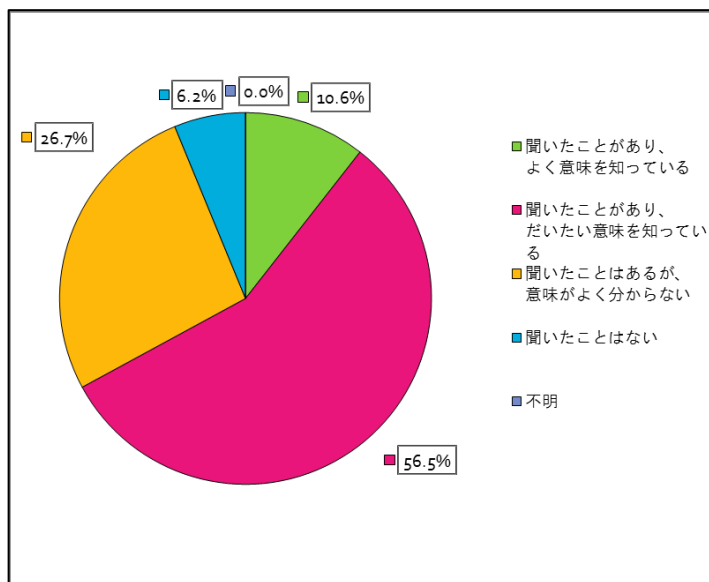


➤ 「主事・技師級」が最も多く、続いて「係長・課長補佐級」が多くなっています。

※問2以降の設問については、年数ごと、職級ごとに表にしています。

- 問2. 「協働」に関わること全般についておたずねします。
  - ◆ 2-1. 「協働」という言葉を聞いたことがありますか？また意味を知っていますか？

回答	計
聞いたことがあります、よく意味を知っている	34
聞いたことがあります、だいたい意味を知っている	182
聞いたことはあるが、意味がよく分からない	86
聞いたことはない	20
不明	0



【年数別】

回答	～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年～
聞いたことがあります、よく意味を知っている	4	6	5	8	11
聞いたことがあります、だいたい意味を知っている	56	28	18	31	49
聞いたことはあるが、意味がよく分からない	42	9	13	9	13
聞いたことはない	7	4	4	4	1
不明	0	0	0	0	0

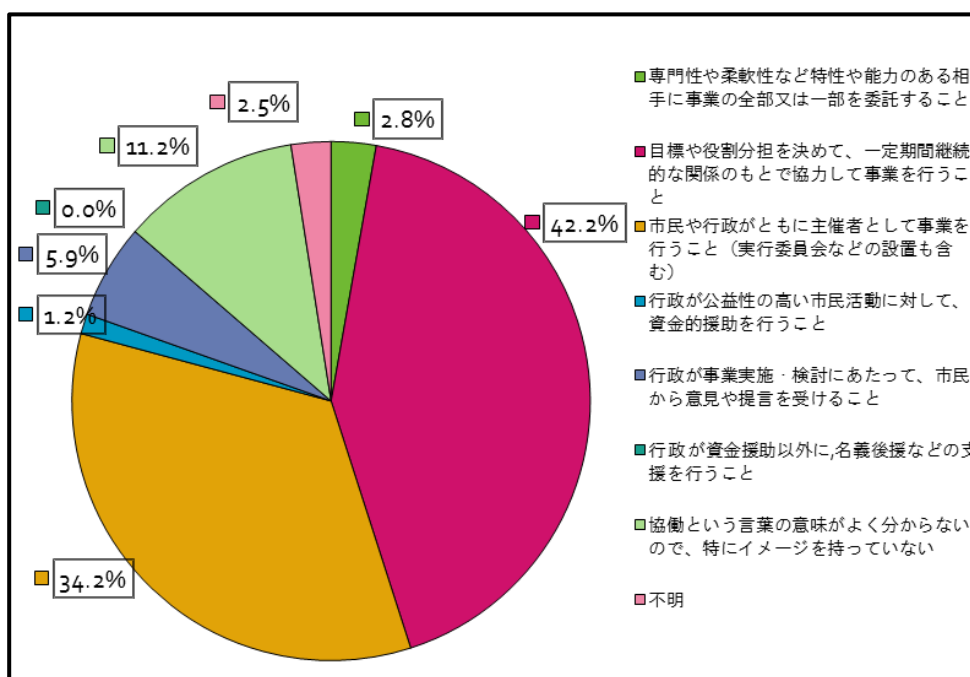
【職級別】

回答	主事・技師	主査	係長・課長補佐	課長以上	不明
聞いたことがあります、よく意味を知っている	5	6	7	16	0
聞いたことがあります、だいたい意味を知っている	55	33	55	37	2
聞いたことはあるが、意味がよく分からない	54	9	14	0	9
聞いたことはない	11	1	2	0	6
不明	0	0	0	0	0

- 全体では、「聞いたことがあります、だいたい意味を知っている」が最も多くなっています。年数別では、「聞いたことはあるが、意味がよく分からない」と答えた方の半数が「～5年」の職員となっています。職級別では、どの職級でも「聞いたことがあります、だいたい意味を知っている」の割合が高くなっていますが、「主事・技師級」では「聞いたことはあるが、意味がよく分からない」も同程度となっています。

◆ 2-2. 「協働」について、あなたのイメージに最も近いものを一つお答えください。

協働の形態	回答	計
事業委託	専門性や柔軟性など特性や能力のある相手に事業の全部又は一部を委託すること	9
事業協力	目標や役割分担を決めて、一定期間継続的な関係のもとで協力して事業を行うこと	136
共催・実行委員会・協議会	市民や行政がともに主催者として事業を行うこと(実行委員会などの設置も含む)	110
補助・助成	行政が公益性の高い市民活動に対して、資金的援助を行うこと	4
政策立案	行政が事業実施・検討にあたって、市民から意見や提言を受けること	19
後援	行政が資金援助以外に、名義後援などの支援を行うこと	0
	協働という言葉の意味がよく分からないので、特にイメージを持っていない	36
	不明	8



【年数別】

回答	～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年～
専門性や柔軟性など特性や能力のある相手に事業の全部又は一部を委託すること	2	3	1	3	0
目標や役割分担を決めて、一定期間継続的な関係のもとで協力して事業を行うこと	42	19	21	20	34
市民や行政がともに主催者として事業を行うこと(実行委員会などの設置も含む)	39	14	9	19	29
行政が公益性の高い市民活動に対して、資金的援助を行うこと	1	1	0	0	2
行政が事業実施・検討にあたって、市民から意見や提言を受けること	7	3	1	2	6
行政が資金援助以外に、名義後援などの支援を行うこと	0	0	0	0	0
協働という言葉の意味がよく分からないので、特にイメージを持っていない	16	6	7	5	2
不明	2	1	1	3	1

【職級別】

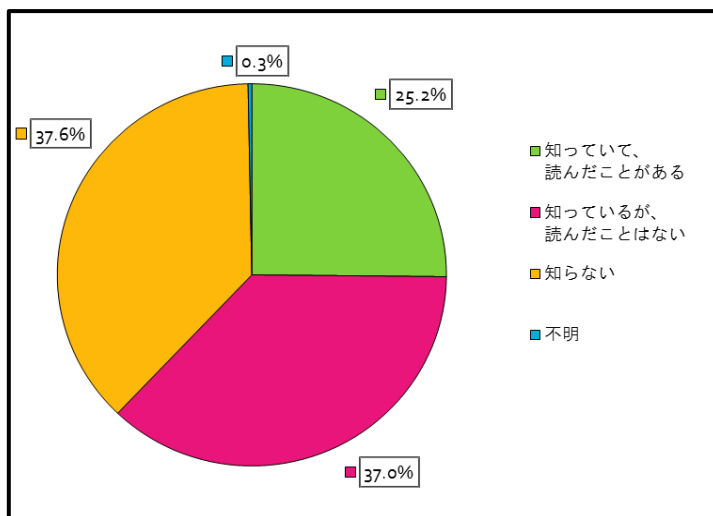
回答	主事・技師	主査	係長・課長補佐	課長以上	不明
専門性や柔軟性など特性や能力のある相手に事業の全部又は一部を委託すること	4	2	1	2	0
目標や役割分担を決めて、一定期間継続的な関係のもとで協力して事業を行うこと	41	23	37	32	3
市民や行政がともに主催者として事業を行うこと(実行委員会などの設置も含む)	43	21	29	15	2
行政が公益性の高い市民活動に対して、資金的援助を行うこと	3	0	1	0	0
行政が事業実施・検討にあたって、市民から意見や提言を受けること	9	2	2	4	2
行政が資金援助以外に、名義後援などの支援を行うこと	0	0	0	0	0
協働という言葉の意味がよく分からないので、特にイメージを持っていない	24	1	3	0	8
不明	1	0	5	0	2

- 全体では、「事業協力」がもっとも多く、続いて「共催・実行委員会・協議会」の回答が多くなっています。どの年代も「事業協力」と「共催」が同数程度であるのに、「11～20年」の年代では「事業協力」に偏っています。また職級別では、どの職級も似たような回答割合ですが、「課長級以上」では「事業協力」と「共催・実行委員会・協議会」の間に差が生じています。さらに、年数別では「～5年」が、職級別では、「主事・技師級」が「特にイメージを持っていない」の数値が高くなっています。



◆ 2-3. 長岡京市の「協働マニュアル」を知っていますか？また読んだことがありますか？

回答	計
知っていて、 読んだことがある	81
知っているが、 読んだことはない	119
知らない	121
不明	1



【年数別】

回答	～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年～
知っていて、読んだことがある	22	10	11	13	25
知っているが、読んだことはない	30	20	16	22	31
知らない	57	17	13	17	17
不明	0	0	0	0	1

【職級別】

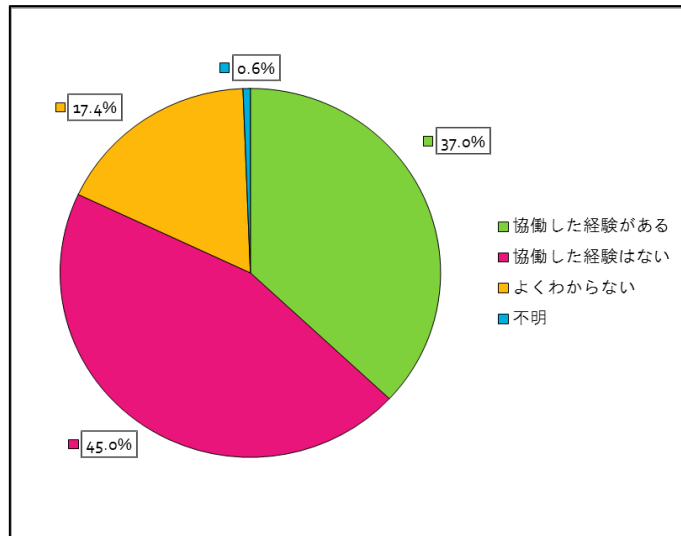
回答	主事・技師	主査	係長・課長補佐	課長以上	不明
知っていて、読んだことがある	20	12	25	24	0
知っているが、読んだことはない	37	21	33	24	4
知らない	68	16	20	4	13
不明	0	0	0	1	0

- 全体では、「知らない」が最も多く、続いて「知っているが、読んだことはない」が多くなっています。年数別では、「～5年」が「知らない」の37%を占めています。その他の年数では、大きな差は見られませんでした。職級別では、「主事・技師級」が「知らない」の約半数を占めています。その他の職級では、職級が上位に行くほど、「知っていて、読んだことがある」の割合が高くなっています。

● 問3. あなた自身と協働についておたずねします。

- ◆ 3-1. これまでの担当業務の中で、個人や市民（地域）活動団体等（以下、市民活動団体等）と協働した経験はありますか？

回答	計
協働した経験がある	119
協働した経験はない	145
よくわからない	56
不明	2



【年数別】

回答	～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年～
協働した経験がある	22	18	18	23	38
協働した経験はない	57	20	15	23	30
よくわからない	28	9	7	6	6
不明	2	0	0	0	0

【職級別】

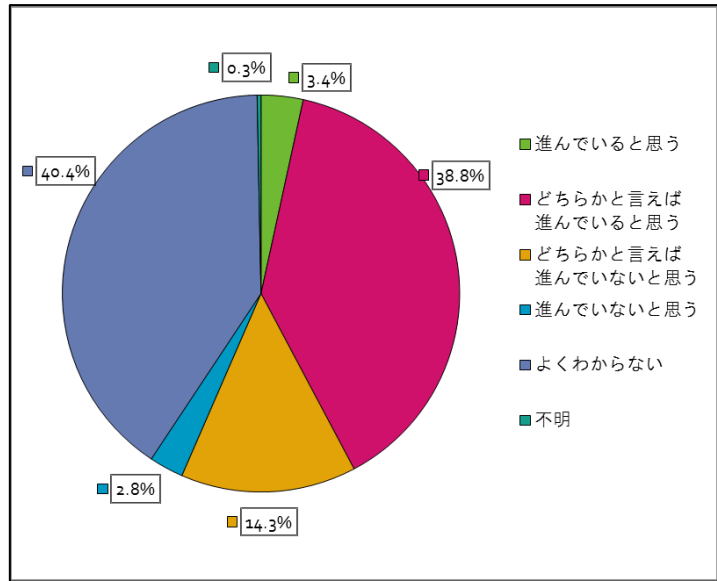
回答	主事・技師	主査	係長・課長補佐	課長以上	不明
協働した経験がある	24	26	33	36	0
協働した経験はない	59	22	40	17	7
よくわからない	40	1	5	0	10
不明	2	0	0	0	0

- 全体では、37%の職員が「協働した経験がある」と回答しています。一方、45%の職員が「協働した経験がない」と回答しており、年数別では「～5年」の職員が最も多くなっています。また職級別においては、「主事・技師級」が「協働した経験がない」の回答がもっとも多くなっています。その他の職級では、職級が上位にいくほど、「協働した経験がある」の割合が高くなっています。

● 問4. 長岡京市と協働についておたずねします。

◆ 4-1. 長岡京市で、市民活動団体等との協働が進んでいると思いますか？

回答	計
進んでいると思う	11
どちらかと言えば進んでいると思う	125
どちらかと言えば進んでいないと思う	46
進んでいないと思う	9
よくわからない	130
不明	1



【年数別】

回答	～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年～
進んでいると思う	1	3	2	5	0
どちらかと言えば進んでいると思う	38	14	15	23	35
どちらかと言えば進んでいないと思う	10	6	5	7	18
進んでいないと思う	2	4	1	1	1
よくわからない	57	20	17	16	20
不明	1	0	0	0	0

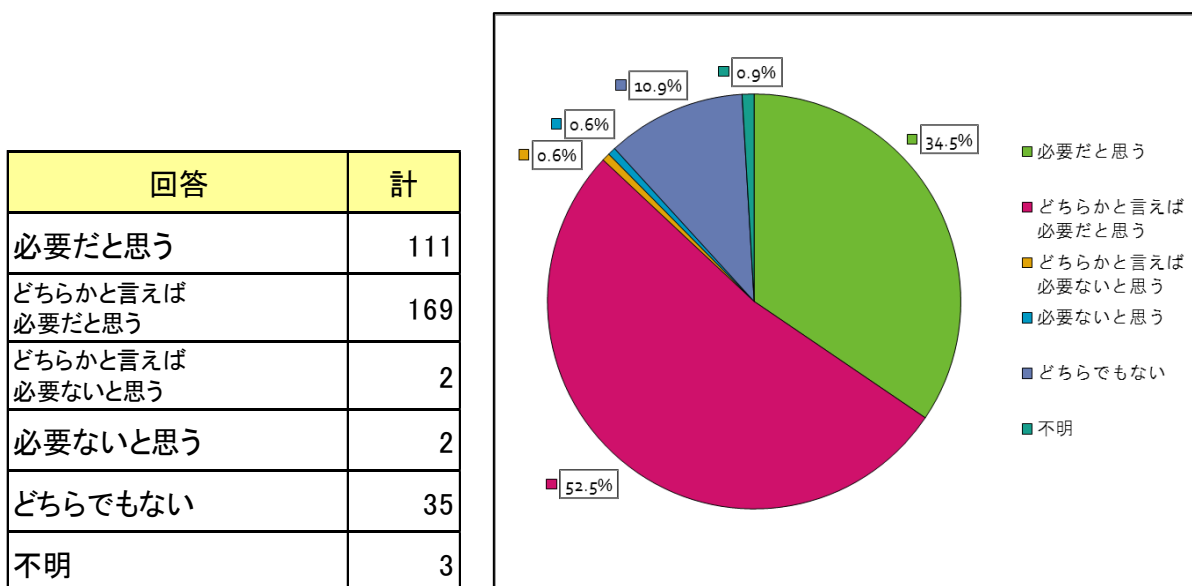
【職級別】

回答	主事・技師	主査	係長・課長補佐	課長以上	不明
進んでいると思う	0	4	3	4	0
どちらかと言えば進んでいると思う	39	14	37	33	2
どちらかと言えば進んでいないと思う	14	9	13	9	1
進んでいないと思う	1	2	3	2	1
よくわからない	70	20	22	5	13
不明	1	0	0	0	0

➤ 全体では、「よくわからない」がもっとも多くなっており、続いて「どちらかと言えば、進んでいると思う」が多くなっています。年数別、職級別ともに下位に行くほど、「よくわからない」の割合が高くなっています。



#### 4-2. 今後、長岡京市で、市民活動団体等との協働を進める必要があると思いますか？



##### 【年数別】

回答	～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年～
必要だと思う	33	14	16	22	26
どちらかと言えば必要だと思う	63	23	16	23	44
どちらかと言えば必要ないと思う	1	1	0	0	0
必要ないと思う	0	2	0	0	0
どちらでもない	10	7	8	6	4
不明	2	0	0	1	0

##### 【職級別】

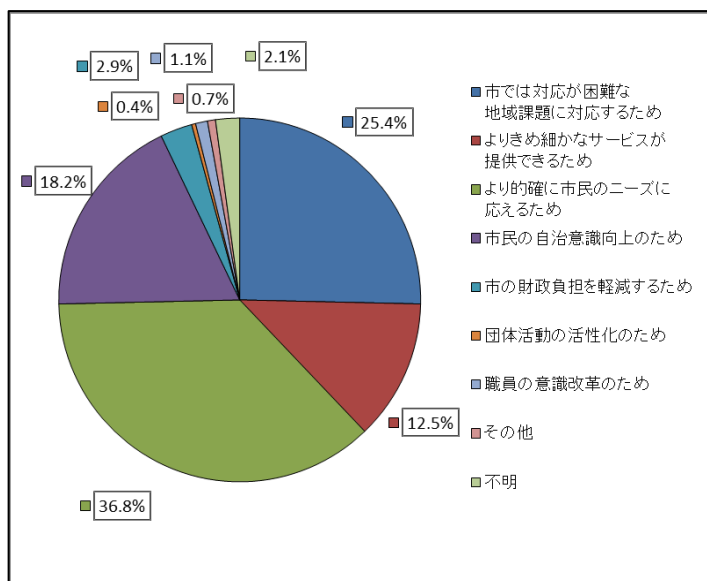
回答	主事・技師	主査	係長・課長補佐	課長以上	不明
必要だと思う	33	22	27	27	2
どちらかと言えば必要だと思う	68	23	45	26	7
どちらかと言えば必要ないと思う	2	0	0	0	0
必要ないと思う	1	1	0	0	0
どちらでもない	20	3	5	0	7
不明	1	0	1	0	1

- 全体では、「必要だと思う」「どちらかと言えば、必要だと思う」の回答が87%を占めています。年数別、職級別で大きな差は見られず、年数職級問わず必要と認識されているようです。

4-3. 問4-2で「アまたはイ」を選んだ方にお聞きします。

協働が必要だと思う理由は何ですか？最も近いものを一つお答えください。

回答	計
市では対応が困難な地域課題に対応するため	71
よりきめ細かなサービスが提供できるため	35
よりの確に市民のニーズに応えるため	103
市民の自治意識向上のため	51
市の財政負担を軽減するため	8
団体活動の活性化のため	1
職員の意識改革のため	3
その他	2
不明	6



〈その他意見〉

- ・人と人とのつながりを築くため
- ・より効率的に費用対効果の高い市民サービスを提供するため

【年数別】

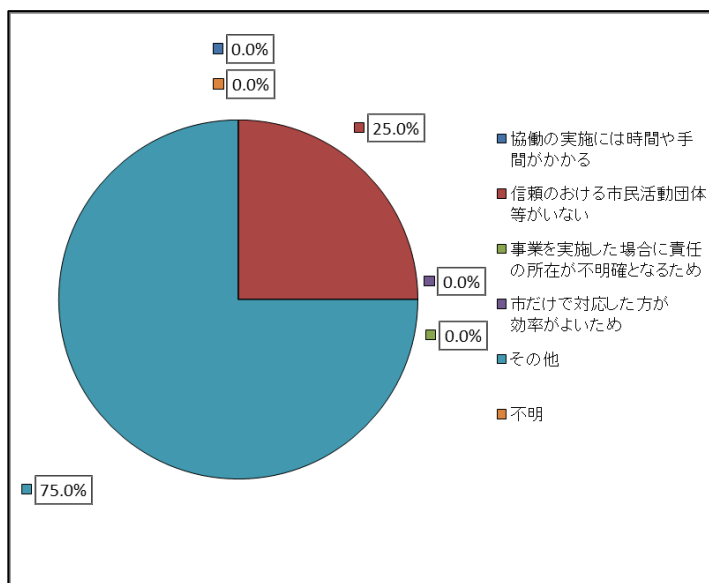
回答	～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年～
市では対応が困難な地域課題に対応するため	27	10	6	14	14
よりきめ細かなサービスが提供できるため	13	3	4	4	11
よりの確に市民のニーズに応えるため	34	12	12	13	32
市民の自治意識向上のため	11	9	8	11	12
市の財政負担を軽減するため	5	0	1	2	0
団体活動の活性化のため	0	0	0	0	1
職員の意識改革のため	2	0	1	0	0
その他	1	1	0	0	0
不明	3	2	0	1	0

【職級別】

回答	主事・技師	主査	係長・課長補佐	課長以上	不明
市では対応が困難な地域課題に対応するため	31	7	14	18	1
よりきめ細かなサービスが提供できるため	15	5	6	6	3
よりの確に市民のニーズに応えるため	33	16	29	20	5
市民の自治意識向上のため	12	12	18	9	0
市の財政負担を軽減するため	4	3	1	0	0
団体活動の活性化のため	1	0	0	0	0
職員の意識改革のため	0	1	2	0	0
その他	1	1	0	0	0
不明	4	0	2	0	0

- ◆ 4-4. 問4-2で「ウまたはエ」を選んだ方にお聞きします。  
 協働が必要ないと思う理由はなんですか？最も近いものを一つお答えください。

回答	計
協働の実施には時間や手間がかかる	0
信頼のおける市民活動団体等がない	1
事業を実施した場合に責任の所在が不明確となるため	0
市だけで対応した方が効率がよいため	0
その他	3
不明	0



〈その他意見〉

- ・協働の主旨や重要性は理解できるが、参加者の個人的な意見や団体の自己利益のための意見等により、公平性が損なわれる可能性があると思うため。
- ・メリットだけではないため。
- ・ある目的を達成するために「協働すること」が必要なら協働すればいい。「協働すること」そのものが目的になっているような事業はいびつになりがち。事業の目的ごとに協働すべきかどうか判断すればよい。

※年数別、職級別については、母数が少数のため表にしません。